

「働きづらさを抱える多くの人々を就労につなげよう！」



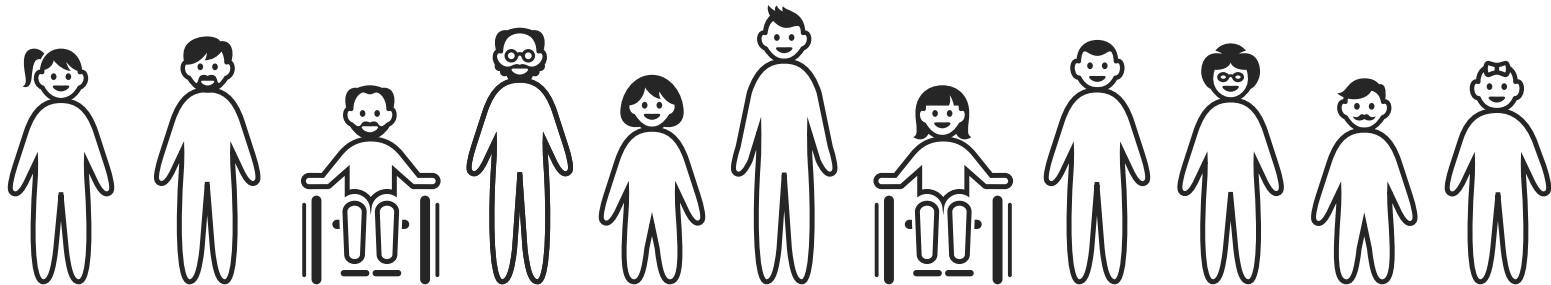
認定特定非営利活動法人ReBit（リビット）

- ホームページ：<https://rebitlgbt.org>
- メール：[info@rebitlgbt.org](mailto:info@rebitlgbt.org)



←LGBTQに関する  
ニュース等をお届け  
する、ReBitの無料  
メルマガにご登録い  
ただけます。

## LGBTを 就労・福祉から考える



## 薬師 実芳 (やくし みか)

早稲田大学商学（学部）・教育学（修士）卒。  
在学時にReBitを立ち上げ、企業/行政/学校等でLGBTQやダイバーシティに関する研修を多数実施。  
キャリアコンサルタント（国家資格）として3000人+のLGBTQやマイノリティを持つ人を中心にキャリア支援を行う。ダイバーシティに関するキャリアフォーラム「RAINBOW CROSSING」を主催。（後援：厚生労働省、文部科学省、経産省、他。出展企業40社+、累計来場3000人+）

- 新宿区、世田谷区、目黒区、小田原市等で男女共同参画や若者自死対策に関する検討委員を務める。
- 青少年版国民栄誉賞と言われる「人間力大賞」受賞（2015年）。世界経済フォーラム（ダボス会議）が選ぶ世界の20代30代の若手リーダー、グローバル・シェパードズ・コミュニティ（GSC）選出（2016年）。オバマ財団が選ぶアジア・パシフィックのリーダー選出（2019年）。
- 山形大学、九州大学で非常勤講師を経験。
- 共著に「LGBTってなんだろう？」「教育とLGBTIをつなぐ」「トランスジェンダーと職場環境ハンドブック」等がある。
- 過去取材：朝日新聞「ひと」「フロントランナー」、毎日新聞「人模様」、他



# LGBTとは？

L

Lesbian

レズビアン

女性を  
好きになる女性

G

Gay

ゲイ

男性を  
好きになる男性

B

Bisexual

バイセクシュアル

女性も男性も  
好きになる人

T

Transgender

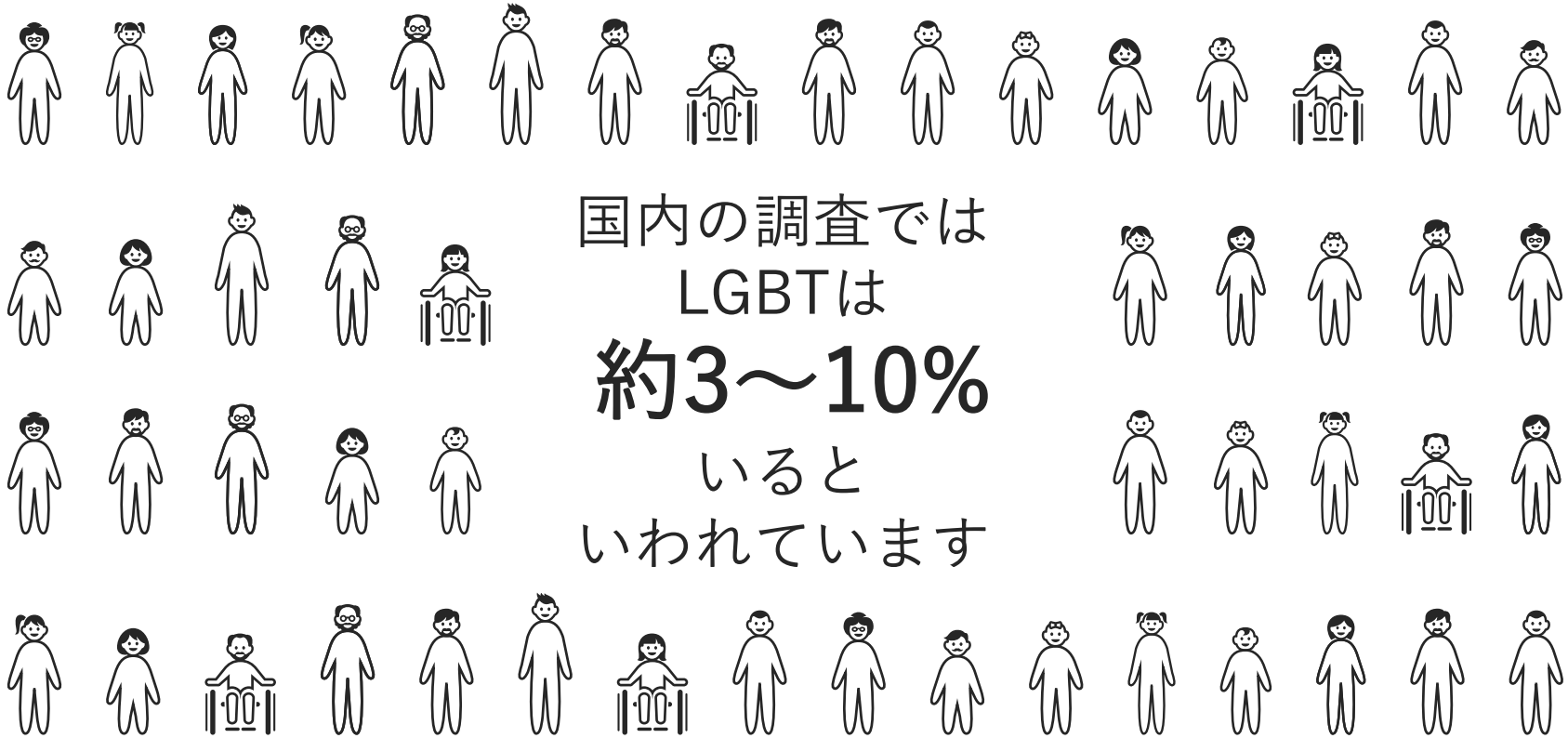
トランスジェンダー

自認する性と  
からだの性が異なる人

ホモ<sup>⊘</sup> オカマ<sup>⊘</sup> レズ<sup>⊘</sup>

揶揄する言葉なので、使わない。

# LGBTとは？



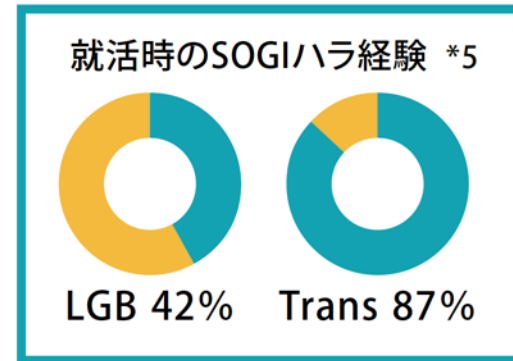
国内の調査では  
LGBTは  
約3～10%  
いると  
いわれています

「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム（2019）「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」、日本労働組合総連合会（2016）「LGBTに関する職場の意識調査」ではLGBT等（性的マイノリティ）、株式会社LGBT総合研究所（2016）「LGBTに関する意識調査」、電通ダイバーシティ・ラボ（2018）「LGBT調査2018」、日高庸晴・三重県男女共同参画センター「フレンデみえ」（2018）「多様な性と生活についてのアンケート調査」（有効回答数10,063）、岩手県高校教育研究会学校保健部会・いわて思春期研究会（2013）「高校生の生と性に関する調査」より

# LGBTと就労における現状

## 1. 就活における困難

- LGB他の42.5%、トランスジェンダーの87%が求職時にセクシュアリティに由来した困難やハラスメントを経験。
- しかし、LGBTの96%がキャリア支援機関にそのことを相談していない。\*1



## 2. 職場における困難

- 4割超のLGBT「職場でSOGIに関する差別的言動が頻繁にある」と回答
- LGBの27.0%、トランスジェンダーの37.6%が職場でアウティング経験\*2

## 3. 就労における困難

- トランスジェンダーは「仕事をしていない」という率が他と比べて高く、4人に1人が「心身上の理由」である。
- 非正規就労の割合が高く、年収200万円未満の割合が27.5%。
- LGB他の25%、トランスジェンダーの35%がうつを経験。自死念慮・自殺企図も高い。\*3

# LGBTと就労に関する国内動向について

## 1.ニッポン一億総活躍プラン（閣議決定：2016年）

→「性的指向、性自認に関する正しい理解を促進するとともに、社会全体が多様性を受け入れる環境づくりを進め」ることが記載されました。

## 2.セクハラ指針（施行：2017年）

→セクハラ指針にLGBTなどへの差別的な言動がセクハラに当たることを、男女雇用機会均等法に基づく事業主向けの「セクハラ指針」に明記され、防止策が努力義務とされました。

## 3.経団連『ダイバーシティ・インクルージョン社会の実現に向けて』 （公開：2017年）

→LGBTへの対応に関する企業の取り組みの方向性や具体例に関する報告書が出されました。

・ 報告書：<https://www.keidanren.or.jp/policy/2017/039.html>

# LGBTと就労に関する国内動向について

## 4.労働施策基本方針（閣議決定：2018年）

→多様性を受け入れる職場環境の整備を進めるため、職場における性的指向・性自認に関する正しい理解を促進する」ことが記載されました。

また、公正な採用選考の取組としては、厚生労働省は、事業者向け啓発パンフレット「公正な採用選考をめざして」（平成31年度版）を作成し、性自認及び性的指向に関して職場における理解を深めることができるよう、性自認及び性的指向に関するコラムを充実させています。

## 5.厚生労働省『多様な人材が活躍できる職場環境に関する企業の事例集～性的マイノリティに関する取組事例～』（公開：2020年）

→厚生労働省が国の事業として初めて職場のLGBTに関する実態調査を実施

・報告書：

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyoukintou/000088194\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/000088194_00001.html)

## 6.パワハラ防止法（施行：2020年）

→パワーハラスメント防止法に、いわゆる「ホモネタ」など、性的指向や性自認に関するハラスメント「SOGIハラ」や、本人の性的指向や性自認を本人の同意なく第三者に暴露する「アウトティング」も含まれ、防止策が義務化されました。

# 企業の取り組み

LGBTへの基本方針 あり

114社 → 364社

(2014年)

(2019年)

6年で319%に

※東洋経済「第15回CSR調査」

PRIDE指標 受賞社数

79社 → 230社

(2016年)

(2020年)

5年で291%に

LGBTに対応する取り組み

実施している

検討中

42.1% 34.3%

※経済団体連合会（2017）「ダイバーシティ・インクルージョン社会の実現に向けて」



# 職場での困りごと

## 1.人間関係・ハラスメント



ゲイ

職場で、信頼している上司にだけ同性のパートナーがいることを伝えていたのだが、そのことを自分の同意がないまま他の同僚や取引先に言いふらされ、噂されるようになってしまい、職場に居づらくなって退職した。

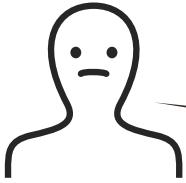
## 2.設備などの男女分け

人事の人にだけカミングアウトして入社したが、新入社員の合宿研修で、お風呂や部屋割りに困った。入社後も、トイレをどうするか、更衣室はどうするか、男女分けされる場面で不安が大きかった。



トランスジェンダー男性

## 3.福利厚生・制度



レズビアン

同性のパートナーと一緒に生活しているが、相手が緊急入院になった際、会社には同性パートナーがいることを伝えておらず、休みが取れなかった。同性パートナーも配偶者として扱ってもらえる会社へ転職を検討中。

在職しながら性別の移行を考えたが、医療的な処置にあたって必要な休暇が取得できる制度や、多様な性に関する職場の理解がなかったため、退職してから性別移行した。再就職できるかとても不安だった。



トランスジェンダー女性

# LGBTとさまざまな困難

## LGBT特有の課題

同性パートナー間の  
保障がない

性別変更の要件  
厳しい

## 一般的社会課題におけるハイリスク

貧困  
年収200万円以下の  
LGBT 27.5%

家族からの暴力  
カミングアウトできない/  
しても受け入れられない

自死  
トランスジェンダーの  
58%が自死念慮を経験\*1

不登校  
トランスジェンダーの  
29%が経験\*2

児童養護施設  
受け入れ拒否を  
されるケースも

路上生活者  
NYC・LA・トロントの  
ホームレス若者人口の  
約20%~40%はLGBT

DV  
同性間DVは相談支援を受け  
づらく、深刻化しやすい

うつ  
LGBの25%、Tの35%  
が経験

就労の困難  
LGBの42%、Tの87%が求職  
時にセクシュアリティに由  
来した困難

\*1：中塚幹也(2010)「学校保健における性同一性障害：学校と医療の連携」『日本医事新報』4521:60-64

\*2 いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン 平成25年度東京都地域 自殺対策緊急強化補助事業 「LGBTの学校生活に関する実態調査(2013)」

注記：その他、前述のデータは出典を割愛させていただきます。

# LGBTの就労移行利用における困難

- 就労移行を利用した際、セクシュアリティに由来した困りごとを経験したことがあるLGBTは**91.8%** (n=37)
  - ✓ 事業所でカミングアウトをすべきか、するとしたらどの範囲ですべきか分からず困った (50%)
  - ✓ 利用者が、性のあり方に関する知識や理解がなくて困った (36.3%)
  - ✓ 性のあり方に関連し、必要な支援を十分に受けられていないように感じた (31.8%)
- 就労移行を利用し、就職活動をした際、セクシュアリティに由来した困りごとを経験したことがあるLGBTは、**90.3%** (n=31)
  - ✓ 性的マイノリティかつ障がいがあるため、望む働き方ができないのではないかなど、キャリアに不安を感じた (40.9%)
  - ✓ 性的マイノリティかつ障がいがある社会人のロールモデル (お手本となる人) がいなかった、もしくは少なく不安だった (40.9%)
  - ✓ 各企業・組織に性的マイノリティへの理解や安全に働ける環境、配慮した人事制度があるか分からず不安だった (40.9%)
- 「これまでLGBTへ支援を提供してきた団体が、”LGBTフレンドリー”を公言して就労移行を設立した場合、利用したいですか？」  
**62.5%が利用したい／どちらかと言えば利用したい** (n=32)

認定特定非営利活動法人ReBit (2020) 「LGBTや性的マイノリティの就労移行支援事業所利用に関するアンケート」より

# 支援者ができること

## 相談をしやすい環境をつくる

現状の「相談しづらさ」を変える

相談窓口がない/わからないことで相談できない

支援者に理解がないことにより二次被害を受けやすい

支援者に理解があるが知識や体制の不足で支援が困難

相談できることを明記する

支援者理解向上のための研修実施

支援方針の規定、リファー先と連携

# 今日からできること

## アライであり続ける

LGBTを笑いのネタにしている場面や、SOGIハラスメントではないか、と思う言動に遭遇したら自分はどう行動するかを考えておく。

一人ひとりがちがうことを想定し、多様性を尊重する行動をとる。  
例：「ふつうは～」 「みんな～」という表現を避け、「私は～」という言葉で伝えてみる。

「彼氏/彼女/夫/妻」と先回りして性別を決めつけた表現ではなく、「パートナー/お連れ合い/ご家族」など、話し手の表現をそのまま使う。




LGBTだけでなく他の人権課題についても情報を知り、考え、行動する。



LGBTに理解があることの象徴であるレインボーグッズを身につけたり、身近に置いたりする。

身近な誰かの味方になれる人

LGBTのニュースや今日の研修の話を、職場/家庭/地域などで肯定的に伝える。



日本初、LGBT  
フレンドリーな  
就労移行を創る

2021年7月、新宿にて  
LGBTやダイバーシティフレンドリーな  
就労移行を設立予定。

ぜひ、大先輩のみなさまから引き続き  
ご指導ご鞭撻をいただけましたら幸甚です。

- 障がいがある、生活が困窮している、就労に困難がある人たちのなかに、LGBTの人たちもいます
- インターセクショナルリティ（交差性）により、見過ごされたり、より困難な状況になりやすいです
- 誰も取り残さない社会の実現に向け、横断的にリソースを共有し、多様性を包括した支援プラットフォームが大切です

# 認定特定非営利活動法人ReBitについて

## 団体プロフィール

- LGBTの子ども・若者特有の困難解消と、多様性を包摂する社会風土の醸成を通じ、LGBTを含めた全ての子どもがあらひのままで大人になれる社会の実現を目指す、認定NPO法人(代表理事 薬師実芳、2014年3月認可)。企業・行政・学校などで約1200回、LGBTやダイバーシティに関する研修を実施。また、マイノリティ性をもつ就活生/就労者等、約3500名のキャリア支援を行う。2016年より、ダイバーシティ&インクルージョン推進をテーマとした国内最大級のキャリアカンファレンス「RAINBOW CROSSING」を運営する。
- 団体ホームページ: <http://rebitlgbt.org>
- LGBTの教材に関するページ: <https://rebitlgbt.org/project/kyozai>

## 実績

- 1、研修(敬称略・順不同): 内閣府、東京都教育委員会、日本電気株式会社、富士通株式会社、ギャップジャパン株式会社、日本労働組合総連合会、他
- 2、イベント運営: 2016年より、企業とLGBTが自分らしくはたらくことについて考えるカンファレンス「RAINBOW CROSSING TOKYO」を開催。累計1300名、180社以上が参加。  
後援: 厚生労働省、日本経済団体連合会、日本労働組合総連合会、文部科学省他。
- 3、メディア: 【テレビ】NHK、日本テレビ、テレビ朝日、フジテレビ、他  
【新聞】日経新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、東京新聞、他  
【雑誌】日経ビジネス、AERA、週刊ダイヤモンド、サンデー毎日、他
- 4、出版: LGBTってなんだろう?ーからだの性・こころの性・すきになる性(合同出版)

## 連絡先

認定特定非営利活動法人ReBit

所在: 東京都新宿区戸山1-1-5エールプラザ戸山台301号室

電話: 03-6278-9909 メール: [info@rebitlgbt.org](mailto:info@rebitlgbt.org) ※2020年7月現在、原則リモート勤務となっております。